

1. 開会挨拶

小林重敬氏

本日は、多くの方にご参加いただき、ありがとうございます。本日は、「ドイツの BID と日本のこれからのエリアマネジメント」というテーマで、ハンブルグ市中心部の BID、パッサゲンフィエルテル運営委員会議長のクリスチナ・ルッペルトさん、内閣府の中原審議官、国土交通省官民連携室長の鹿子木さんに講演いただきます。

わが国のエリアマネジメントは、これまで海外のエリアマネジメントをかなり見習いながら、発展してきた経緯があります。全国エリアマネジメントネットワークでは、シンポジウムを重ねながら、エリアマネジメントを進めるためには、財源の課題を解決する制度の整備が必要ではないかという議論をしてきました。ここ大阪は、我々が議論を開始する前に、既に大阪版 BID という制度を先駆けてつくられており、グランフロントは第一号の地区です。今年の 6 月には、地域再生法が改正されて、「地域再生エリアマネジメント負担金制度」が創設されました。大変に的確な時期における制度策定で、感謝しております。

今日は、負担金制度の創設やエリマネ活動に関わってきた方々、ルッペルトさんとともに、新しい局面を迎えた日本のエリアマネジメントのこれからについて議論できるのではないかと考えております。ご期待ください。